

授業科目 公的扶助論 II

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会	
	開講時期	後期	必修選択	必修	
	単位数	2	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】					
<p>生活保護制度以外の低所得者対策について学ぶことによって多様な課題について理解を深める。 生活保護制度についての知識を元に、生活保護の相談援助活動について位置づけやプロセスを考える。自立支援プログラムの意義と実際について理解する。</p> <p>また、低所得者の就労の現状と支援制度を学び、今後の自立支援の方向性について、専門職として視野を広げる。さらに、相談支援職として必要な、就労支援のケアマネジメントと連携・ネットワークについて理解を深める。</p>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 低所得者対策の概要について学ぶことで社会福祉士としての専門的知識を高める。 2. 生活保護・低所得者の相談援助活動の実際について学び、判断力の向上を目指す。 3. 自立支援プログラムの意義と実際について学び問題解決能力を高める。 4. 低所得者と就労支援について理解し幅広い視野でとらえ思考力と判断力の向上を目指す。 5. 就労支援の関係職種との多職種間連携について学び、良好な関係を図る土台を形成する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	低所得者対策の概要：生活福祉資金貸付制度について学ぶ			1	講義
2	低所得者対策の概要：社会手当制度、災害救助について学ぶ			1	講義
3	低所得者対策の概要：ホームレスの自立支援対策、公営住宅等について学ぶ			1	講義
4	生活保護の運営・実施体制について理解する（1）国、都道府県・市町村の役割			2	講義
5	生活保護の運営・実施体制について理解する（2）福祉事務所の役割			2	講義
6	生活保護受給者・低所得者への相談活動を知る（1）			1, 2, 3, 5	講義
7	生活保護受給者・低所得者への相談活動を知る（2）			1, 2, 3, 5	講義
8	自立支援プログラムの意義と実際について学ぶ（自立の概念、プログラムの位置づけ、策定）			2, 3	講義
9	低所得者と就労支援について理解する			4, 5	講義
10	低所得者と就労の現状を把握する			4, 5	講義
11	低所得者の就労支援制度について理解する			4, 5	講義
12	低所得者の就労支援における組織・団体また、専門職の役割について学ぶ			4, 5	講義
13	就労支援のケアマネジメントについて理解する			4, 5	講義
14	就労支援の連携・ネットワーキングについて学ぶ			4, 5	講義
15	まとめ			12345	講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	就労支援サービス	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	1,600円・最新版	
	低所得者に対する支援と生活保護制度	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2,310円・最新版	
参考書	社会保障の手引き	荘村明彦	中央法規	2,800円・各年度版	
その他の資料	国民の福祉の動向・厚生指標	厚生統計協会	厚生統計協会	2,100円・最新版	
【評価方法】		【履修上の留意点】			
レポート、試験、小テスト、出席状況 授業態度を総合的に評価する					